

## 概要

当科は腎臓病学，透析医学，血液浄化（アフェレシス）医学，リウマチ・膠原病学の4分野の診療，研究，教育を担当する部門である。検尿異常（蛋白尿・血尿）から透析導入，腎移植まで，また長期透析患者の合併症，リウマチ・膠原病に関して適切な診療と管理ができる探究心溢れる臨床医の育成をめざしている。

特に当科は多岐にわたる内科系疾患全ての領域に関わるのが特徴であり、上記専門領域にとどまらず総合内科医を目指す部門である。

診療分野の概略は、以下のとおりである。

1. 腎炎など原発性腎疾患、ならびに腎硬化症、糖尿病性腎症、ループス腎炎などの続発性腎疾患とその原因疾患
2. 高血圧症、動脈硬化症、うっ血性心不全などの循環器関連疾患
3. Na, K, Ca, P などの電解質代謝異常症
4. 尿細管アシドーシスなどの酸・塩基平衡異常症
5. 関節リウマチ、免疫抑制療法、分子標的薬や抗体療法
6. 全身性エリテマトーデスをはじめとする膠原病
7. 急性腎障害（急性腎不全）
8. 慢性腎障害（慢性腎不全）
9. 透析期腎不全：人工透析、腹膜透析
10. 腎移植
11. 移植期腎不全
12. アフェレシス治療（血漿交換，血漿吸着など）とアフェレシス対象疾患（神経疾患，消化器疾患，敗血症，血液疾患，免疫疾患、感染症、妊娠合併症など）

## 後期研修

1. 当科の専門研修を行うのと平行し，希望によっては他科の希望部門を再度ローテートするシステムも可能である。これは当科の診療分野が広く内科全体に分布するためである。

2. 医師として、また内科医として患者の利益を第一とした基本的診療態度、技術、思考過程を身につける。
3. 当科において必要な専門技術を取得する（腎生検、腎組織染色、シャント手術、経皮的血管形成術、透析用カテーテルの挿入術、各種血液浄化法の回路の組み立て、など）
4. チーム医療としての自らの役割を理解し、チーム医療の円滑、効果的実践を計る。
5. 専門医としての診療教育を受ける。当科にて取得可能な専門医・指導医は、日本内科学会（内科のみ総合内科専門医）、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本アフェレシス学会、日本リウマチ学会などである。
6. 日々の診療の中から、臨床研究・基礎研究を含め研究分野を見だし、希望に応じ大学院進学や海外、国内留学を行う。
7. 学位取得は義務ではないが、希望者には十分な研究指導を行い、医学博士号取得を強力にサポートする。

#### 後期研修終了後の教育目標

どこの医療施設においても一流の診療技術をもち、優れた専門医として患者、その家族、医療スタッフの信頼を集め、少なくとも特定の研究分野では国際的研究者として認知される人間性にあふれる医療人となるよう教育、指導する。